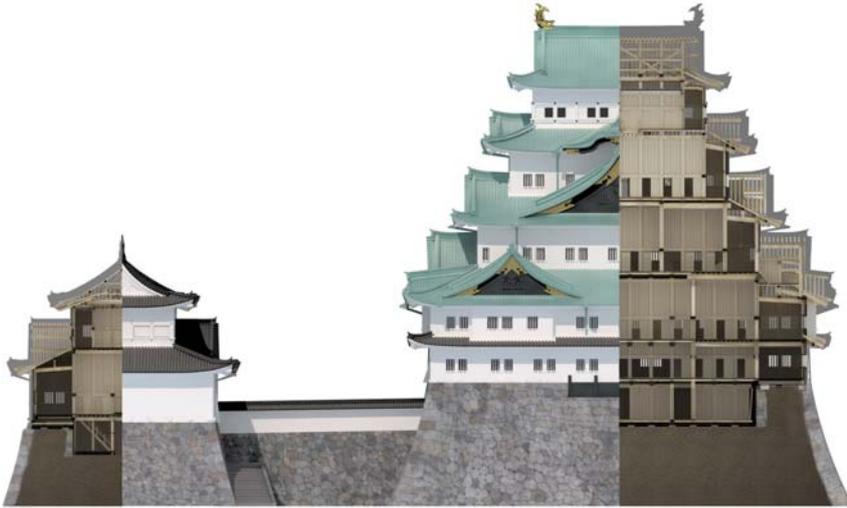


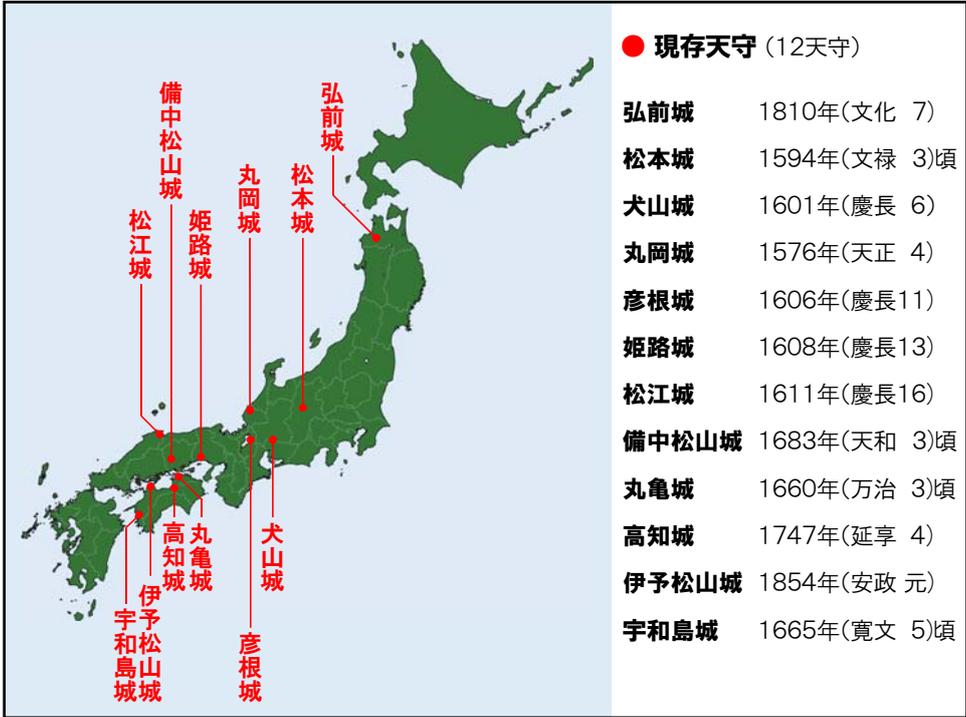
名古屋城天守閣木造復元

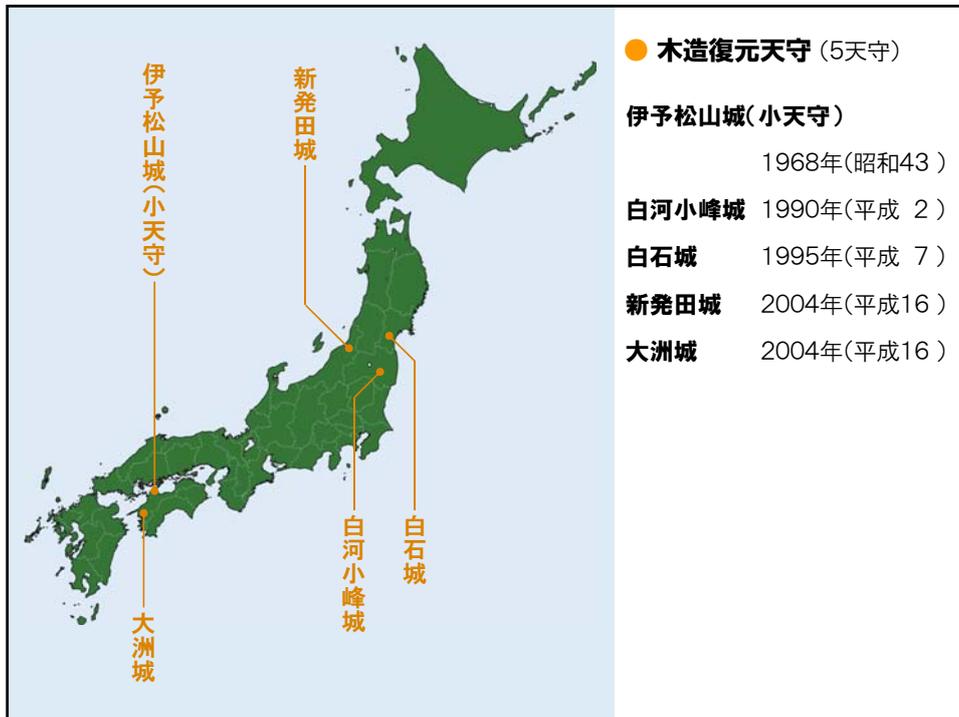
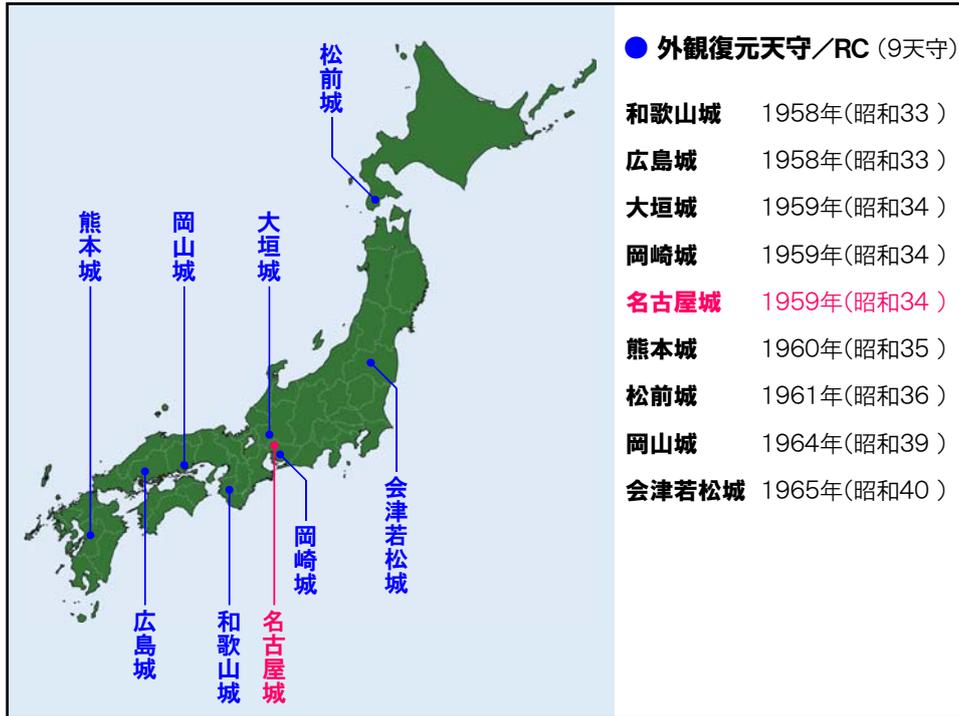


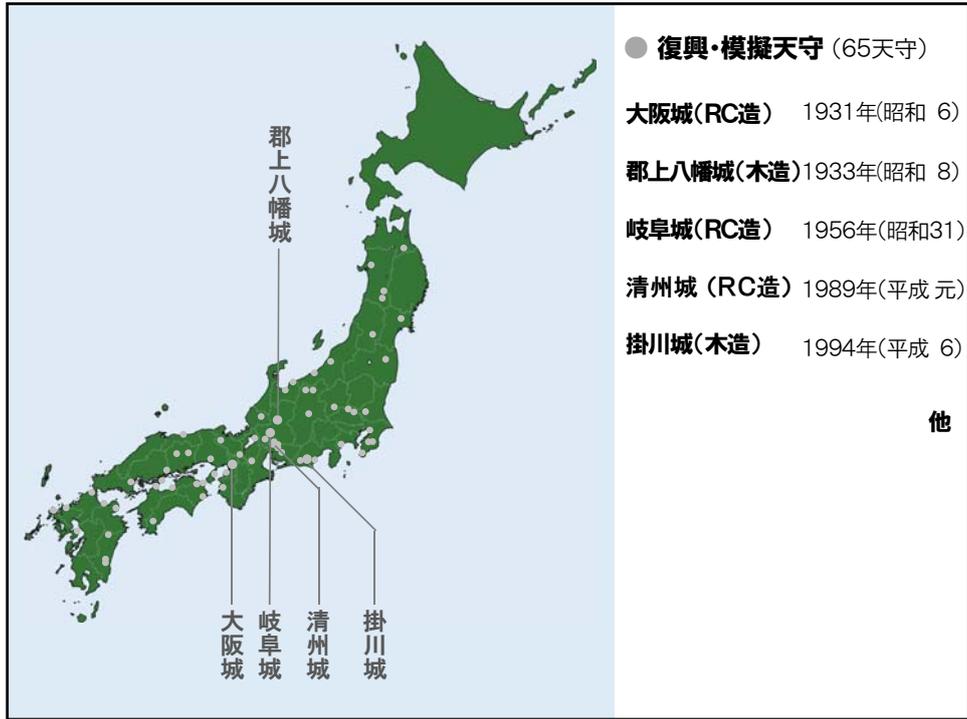
木造復元イメージ図

OPENING Movie

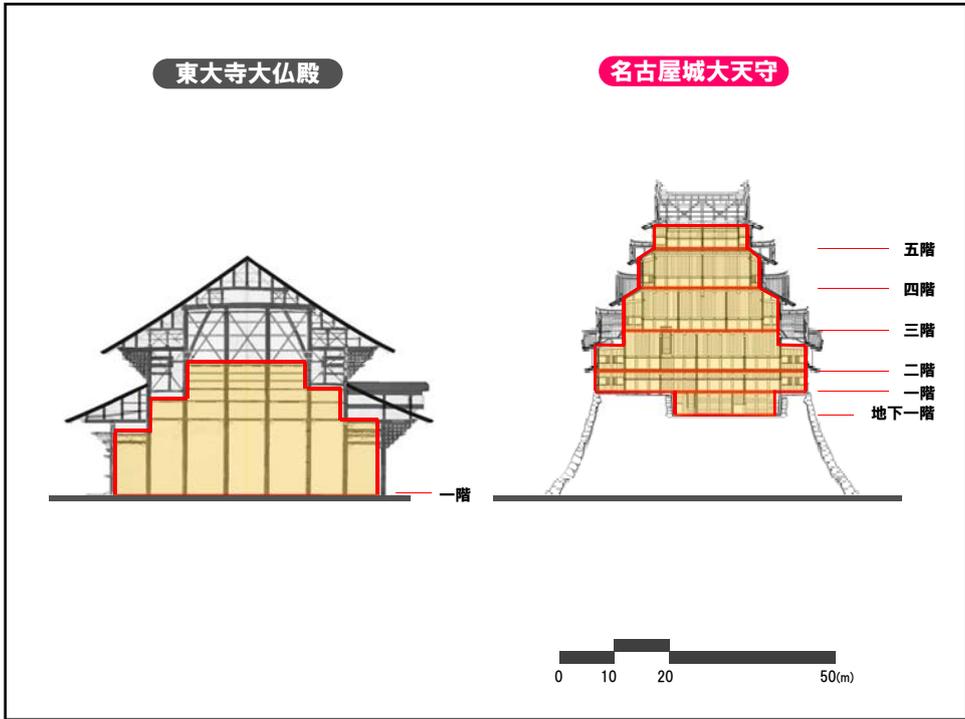
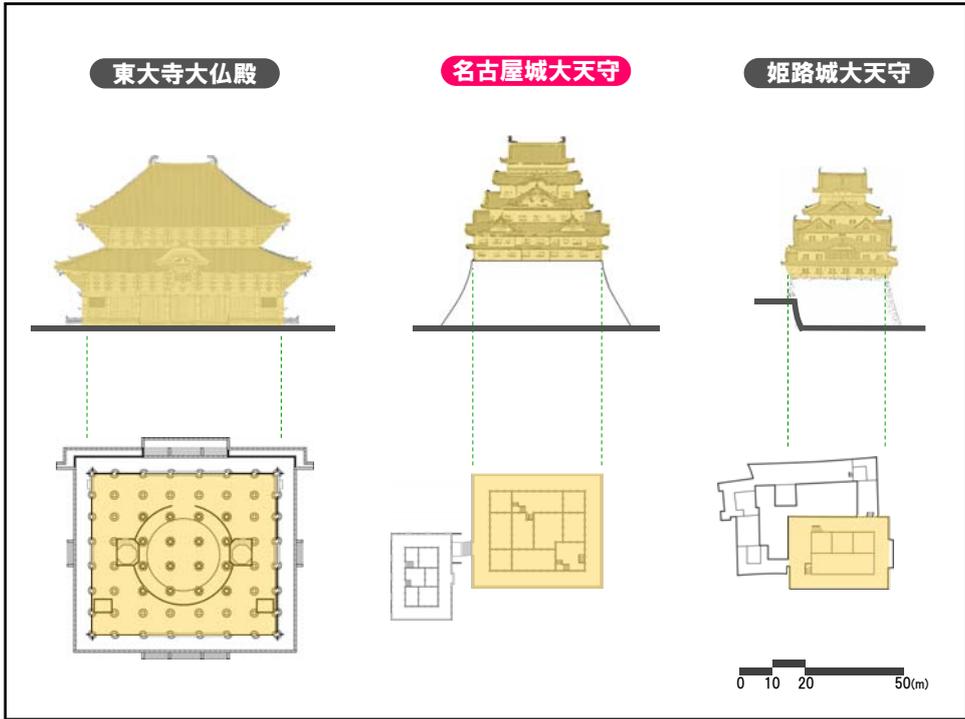
全国の天守







大きさ比較

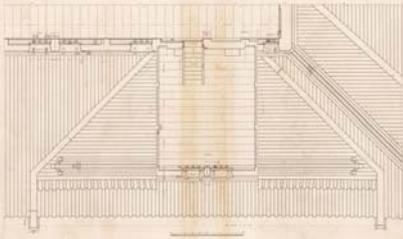


復元時代設定

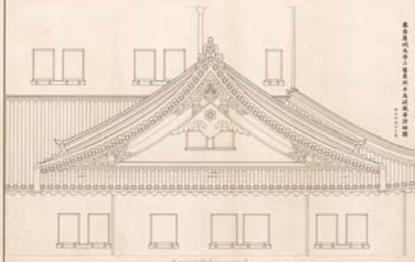
1600年代		1700年代		1800年代		1900年代	
一六一〇	一六二二	一六六九	一七五二	一八六七	一九三〇	一九四五	一九五九
普請始まり	天守完成	壁塗り直し 屋根葺き直し (大小13回の修理)	宝暦の大修理	大政奉還	国宝指定	戦災消失	現天守完成
	創建時の姿		宝暦の大修理時の姿			現天守	
屋根	五層:銅板瓦葺き 一~四層:本瓦葺き		五層:銅板瓦葺き(創建時の姿) 二~四層:銅板瓦葺き 一層:本瓦葺き(創建時の姿)				
石垣	創建時のまま(加藤清正)		西側・北側石垣積み直し				
その他			建物の傾斜の是正 床の水平調整 一、二階を部分解体 明り採り新設(東側1か所、南側1か所)				

昭和実測図

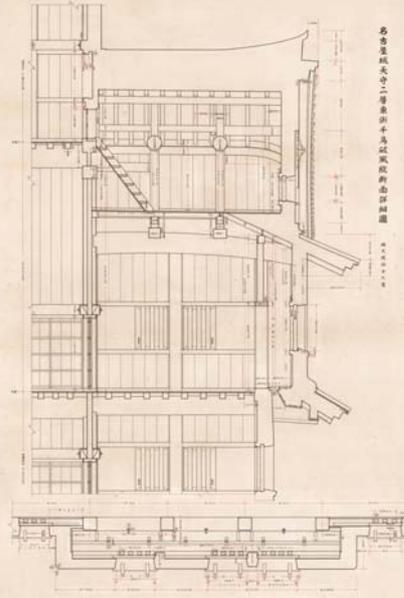
(名古屋城総合事務所蔵)



名古屋城天守二層東側千鳥破風平面詳細図



名古屋城天守二層東側千鳥破風姿詳細図



名古屋城天守二層東側千鳥破風縦断面詳細図

ガラス乾板写真



126 ガラス乾板
名古屋城

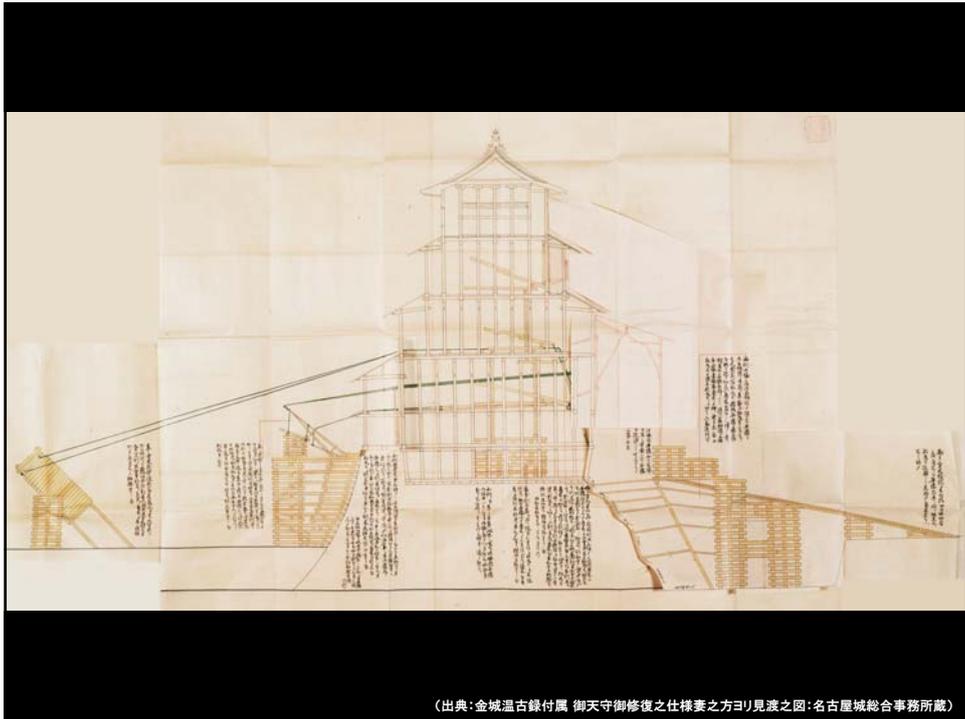


ガラス乾板から印刷された写真



ガラス乾板

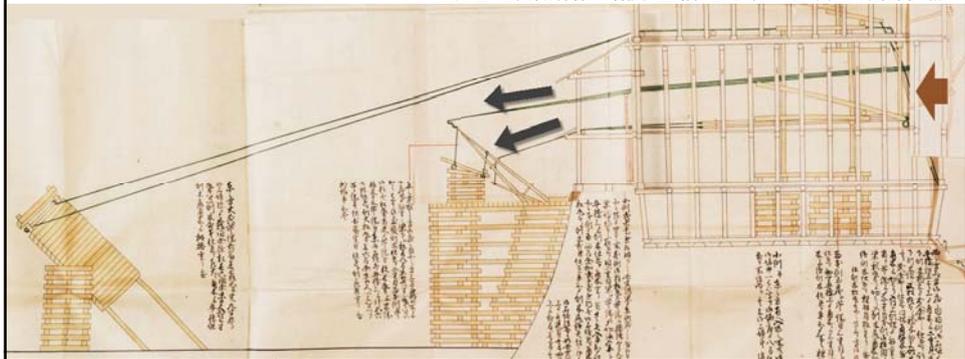
(出典:名古屋城特別展 失われた国宝 名古屋城本丸御殿:名古屋城総合事務所蔵)

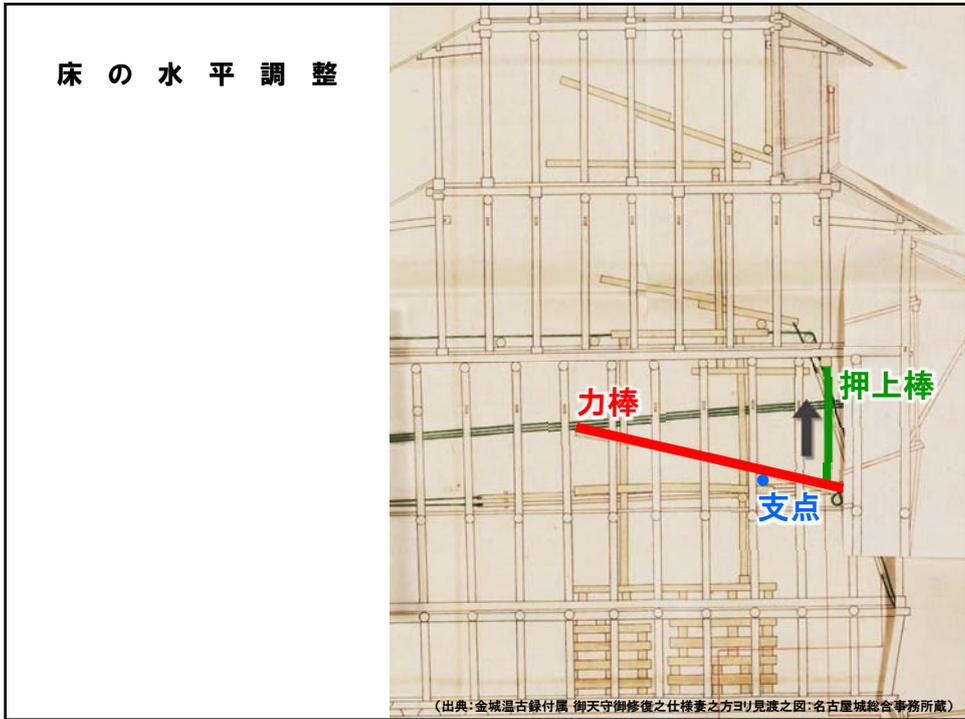
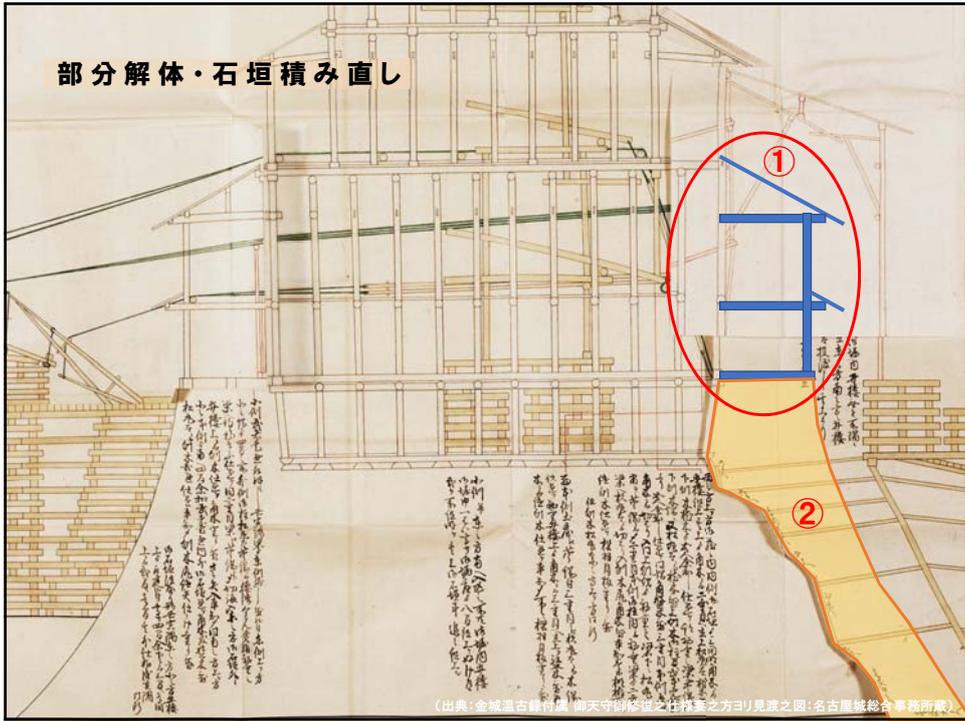


(出典:金城温古録付属 御天守御修復之仕様妻之方ヨリ見渡之図:名古屋城総合事務所蔵)

建物の傾きの是正

(出典:金城温古録付属 御天守御修復之仕様妻之方ヨリ見渡之図:名古屋城総合事務所蔵)







(出典:ガラス乾板写真 本丸敷地内建造物(焼失)俯瞰:名古屋城総合事務所蔵)

史実から掘り起こす

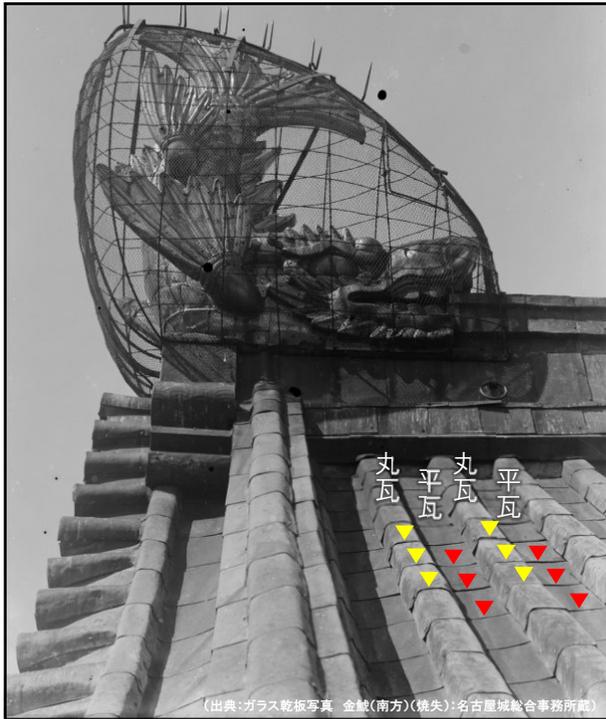
屋根・壁・木材・柱

屋根



大天守の屋根について

(出典:ガラス乾板写真 金鯉(南方)(焼失):名古屋城総合事務所蔵)



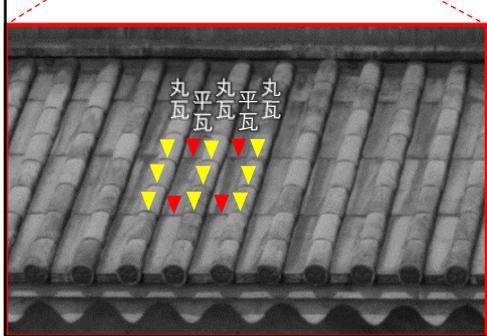
大天守の屋根について

(出典:ガラス乾板写真 金鯉(南方)(焼失):名古屋城総合事務所蔵)

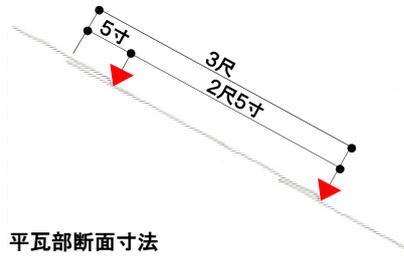


大天守の屋根について

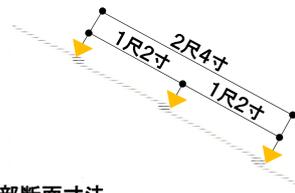
(出典:ガラス乾板写真 金鯉(南方)(焼失):名古屋城総合事務所蔵)



大天守の屋根について



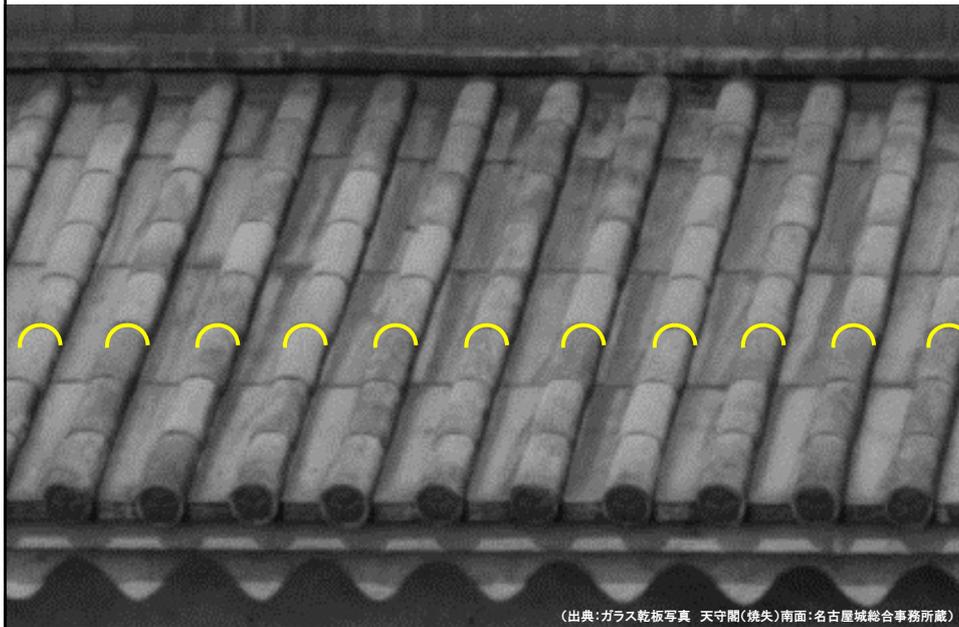
平瓦部断面寸法



丸瓦部断面寸法

(出典:ガラス乾板写真 天守閣(焼失)南面:名古屋城総合事務所蔵)

大天守の屋根について



(出典:ガラス乾板写真 天守閣(焼失)南面:名古屋城総合事務所蔵)

創建時の姿		宝暦の大修理時の姿		現天守	
【慶長創建時】		【宝暦修理時】 (竣工時)	【宝暦修理後】 (経年変化)	【昭和復興時】 (竣工時)	【昭和復興後】 (経年変化)
(昭和実測図をもとにCAD化・加筆・着色)					
五層	銅瓦	緑青の出た銅瓦	緑青の出た銅瓦		
四層	土瓦	銅瓦の上、 黒チャン塗	黒チャン塗が落ち 緑青の出た銅瓦	銅板葺き素地 (赤銅色)	緑青の出た銅板葺き
三層					
二層					
一層		土瓦	土瓦	土瓦	土瓦

チャン塗について



えごまあぶら

まつやに

■ チャンの製作

植物性油を加熱し乾性油にする

松脂を溶かし込む

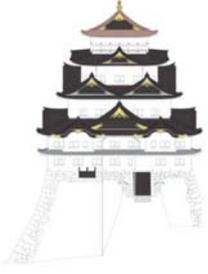
顔料の混練り
黒色の場合：油煙、松煙、酸化鉄など

■ 黒チャン塗の事例

出雲大社御本殿
平成の大遷宮(2012)



天守木造復元竣工時の姿(案)

			
<p>五層 :銅素地</p> <p>二～四層 :黒チャン塗</p> <p>妻壁・破風板 :黒チャン塗</p>	<p>五層 :黒チャン塗</p> <p>二～四層 :黒チャン塗</p> <p>妻壁・破風板 :黒チャン塗</p>	<p>五層 :銅素地</p> <p>二～四層 :銅素地</p> <p>妻壁・破風板 :黒チャン塗</p>	<p>五層 :銅素地</p> <p>二～四層 :銅素地</p> <p>妻壁・破風板 :銅素地</p>

壁

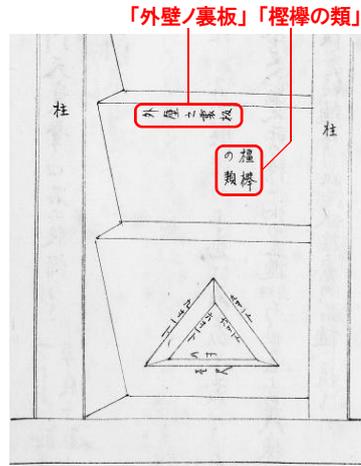
大天守の外壁・中込厚板

■ 史料による中込厚板(防弾厚板)の記載

『金城温古録』
「御天守編之二 御天守部」の「初重」の項

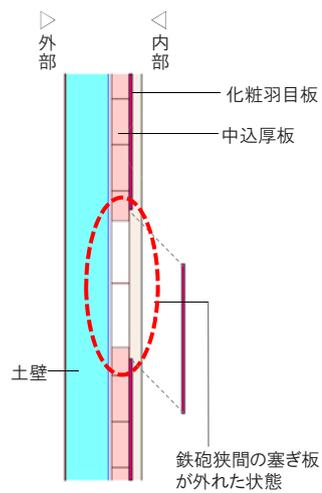
「外ヶ輪惣壁厚一尺、柱と柱との間、壁真は
檨板〔厚四寸程〕葺掛張り、腰下には隠狭
間を穿つ。

〔三角形〕内裏腰板囲ひ〔三角の隠し狭間
形切抜仕はめ〕其上に四方窓数、旧記の
面六十二」



『金城温古録』
「御天守編之二 御天守部」の「劍堀」の項 挿絵

(名古屋城総合事務所蔵)



(出典: ガラス乾板写真天守閣一階内橋台上南側の石落及び鉄砲狭間: 名古屋城総合事務所蔵)

木 材

木 材 の 特 定

『熱田之記』 — 熱田神宮およびその周辺に関する地誌

- 「尾州名護屋御殿守御材木」という文書が筆録されている。
- 慶長17年(1612年)12月提出された材木一覧

『蓬左邊府記稿』 — 文化14年(1817)の名古屋城築城に関する史料集成

- 「名古屋御城御本丸御天守御用材木」と題された資料の採録がある。

『ガラス乾板写真』

- 天守については79枚が現存している。

各種材木の

- 種類
- 使用場所
- 数量

が、ほぼ一致

- 木目
 - 木肌
- から材種を確認

柱

檜

梁

松

壁 中込厚板

カシ・ケヤキ

柱材種

檜

※木目より推定

丸太梁材種

松

※木目、割れより推定



ガラス乾板写真 大天守一階西入側

(名古屋城総合事務所蔵)

柱材種

檜

※木目より推定

丸太梁材種

松

※木目、割れより推定

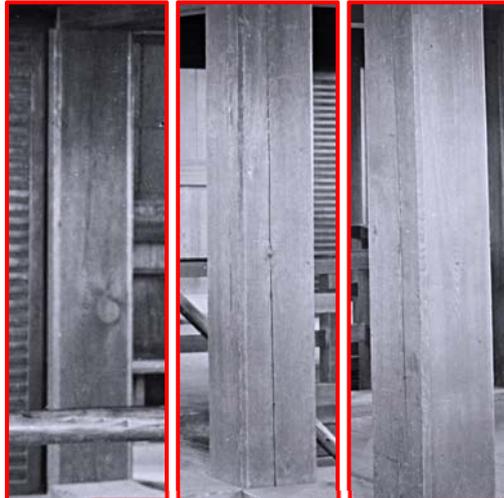


ガラス乾板写真 大天守一階西入側

(名古屋城総合事務所蔵)

大天守五階天守間の柱の推定

柱材種	檜	※ 木目より推定
芯持材	隣り合う2面(C)が板目の柱より特定割れ(B、C)があることから判断	
節がある	目視(A、C)により特定 節径:30~90mm (写真を計測)	



A部

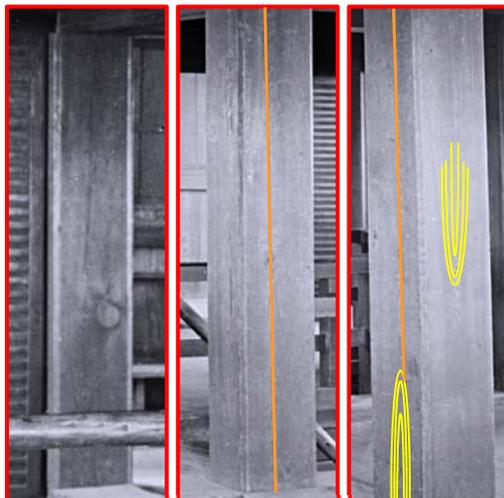
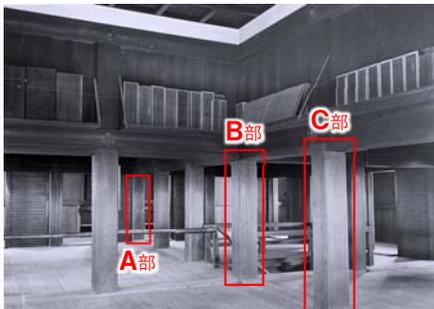
B部

C部

(出典:ガラス乾板写真 天守閣五階内長押上(焼失):名古屋城総合事務所蔵)

大天守五階天守間の柱の推定

柱材種	檜	※ 木目より推定
芯持材	隣り合う2面(C)が板目の柱より特定割れ(B、C)があることから判断	
節がある	目視(A、C)により特定 節径:30~90mm (写真を計測)	



A部

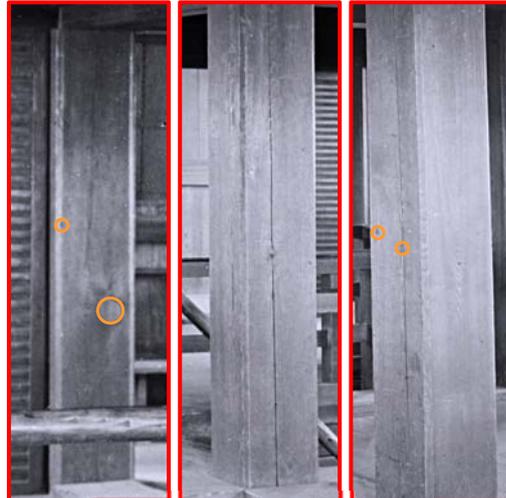
B部

C部

(出典:ガラス乾板写真 天守閣五階内長押上(焼失):名古屋城総合事務所蔵)

大天守五階天守間の柱の推定

柱材種	檜	※ 木目より推定
芯持材	隣り合う2面(C)が板目の柱より特定割れ(B、C)があることから判断	
節がある	目視(A、C)により特定 節径:30~90mm (写真を計測)	



A部

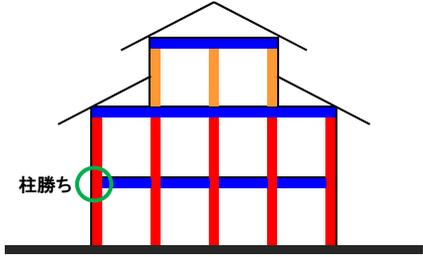
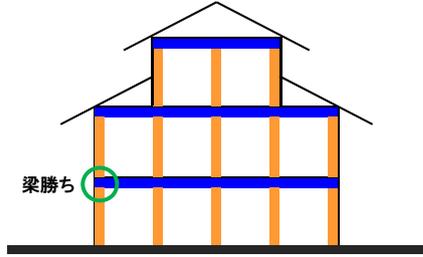
B部

C部

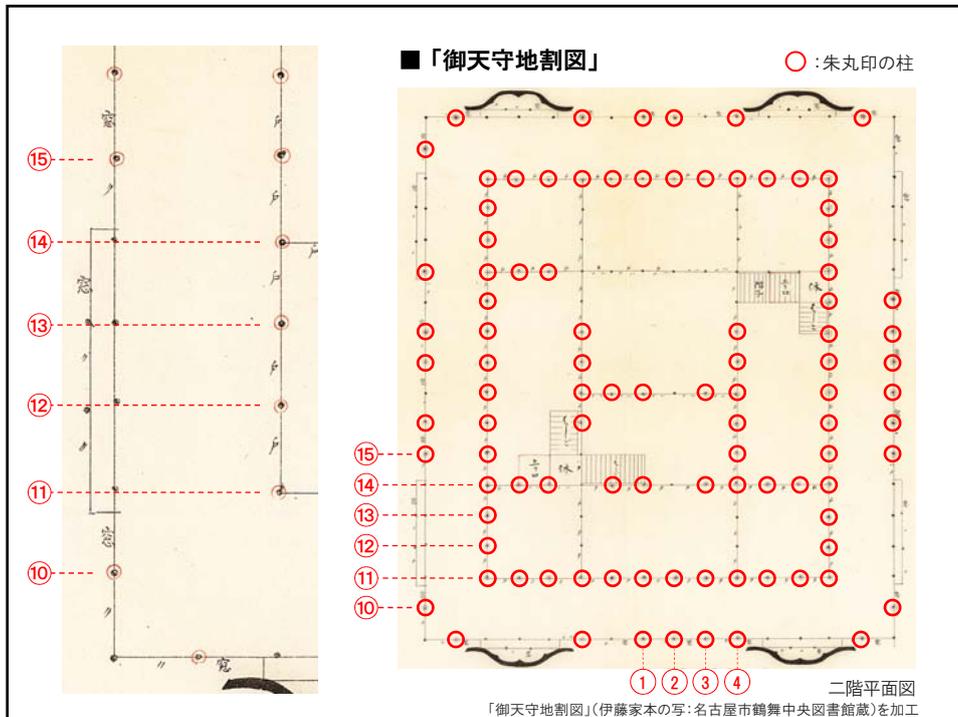
(出典:ガラス乾板写真 天守閣五階内長押上(焼失):名古屋城総合事務所蔵)

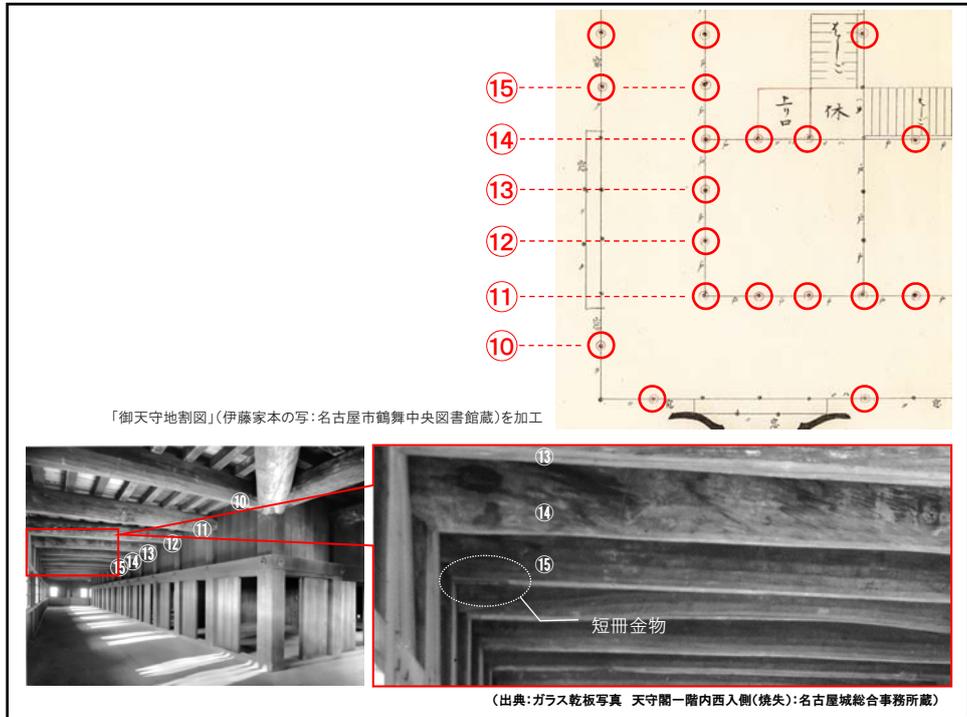
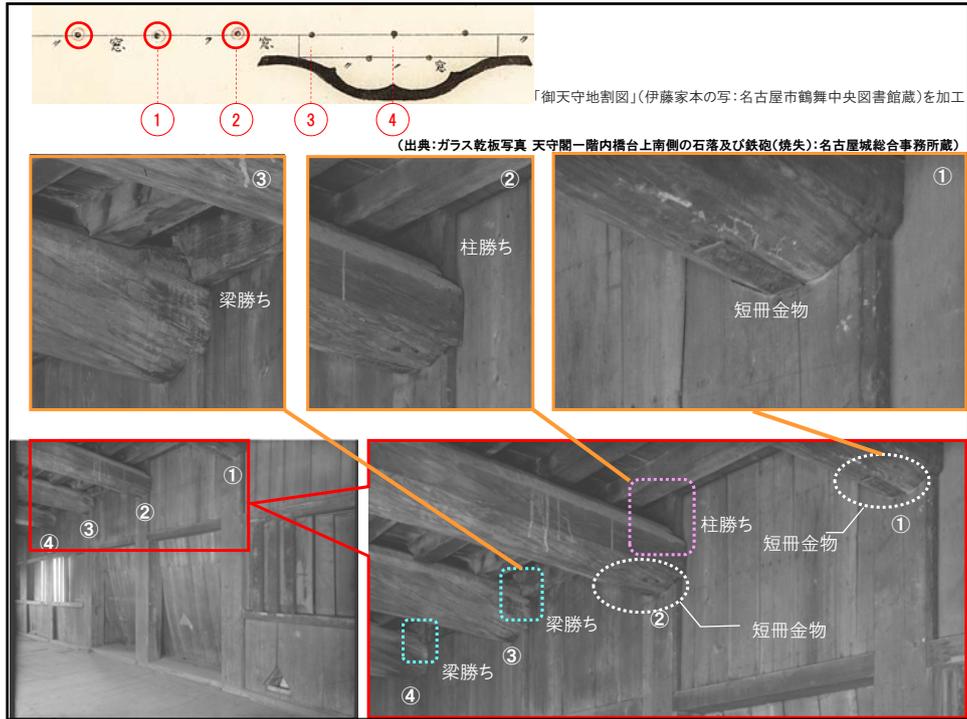
柱

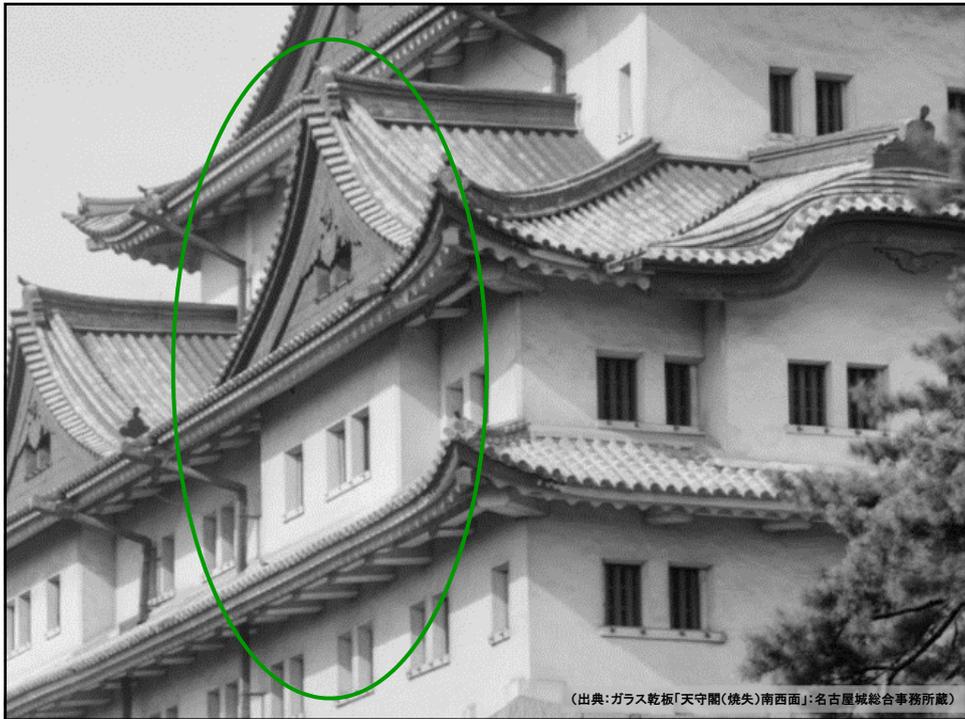
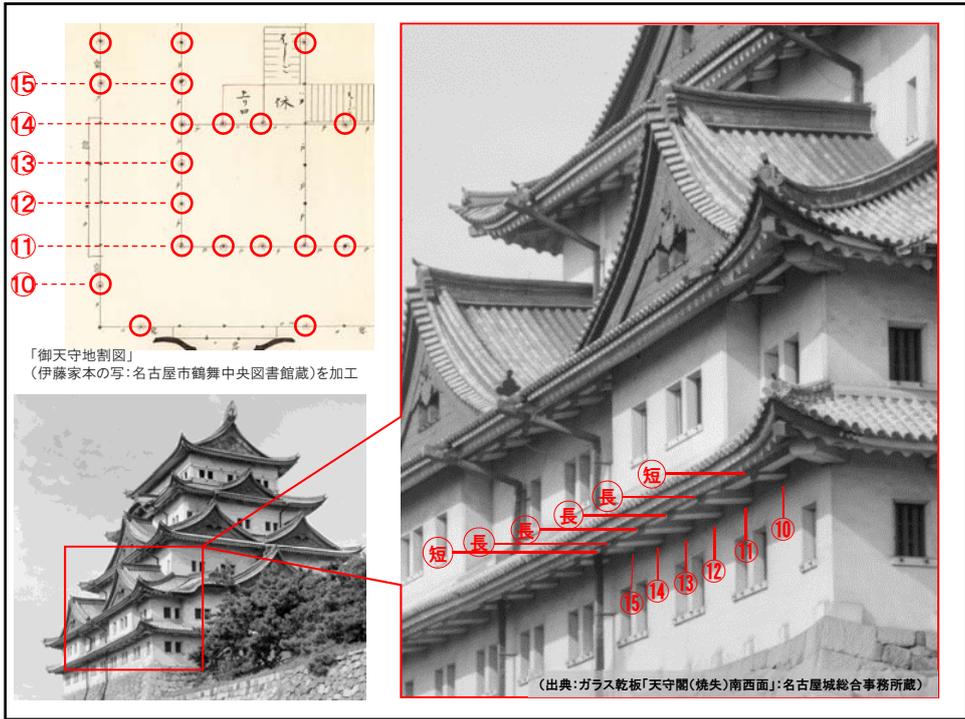
通し柱の特定

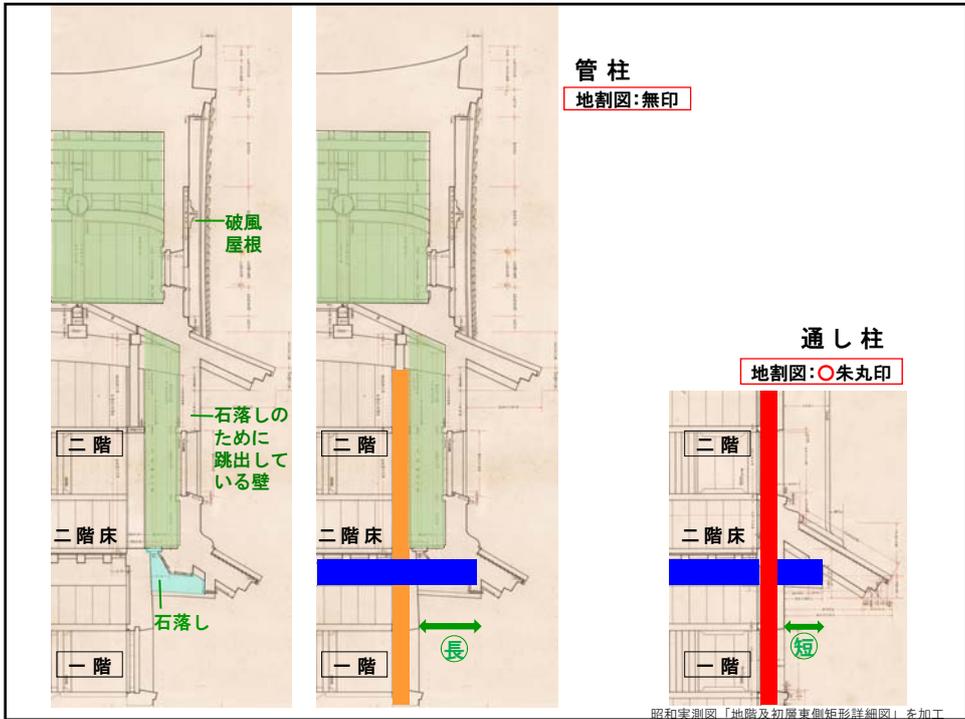
通し柱（とおしばしら）	管柱（くだばしら）
 <p>柱勝ち</p> <p>■：複数階にまたがっている柱</p>	 <p>梁勝ち</p> <p>■：階ごとの長さの柱</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 柱勝ちとなる ● 梁は柱に差し込まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 梁勝ちとなる ● 柱で梁を支える

図面から通し柱か管柱かを見分けるのは難しい

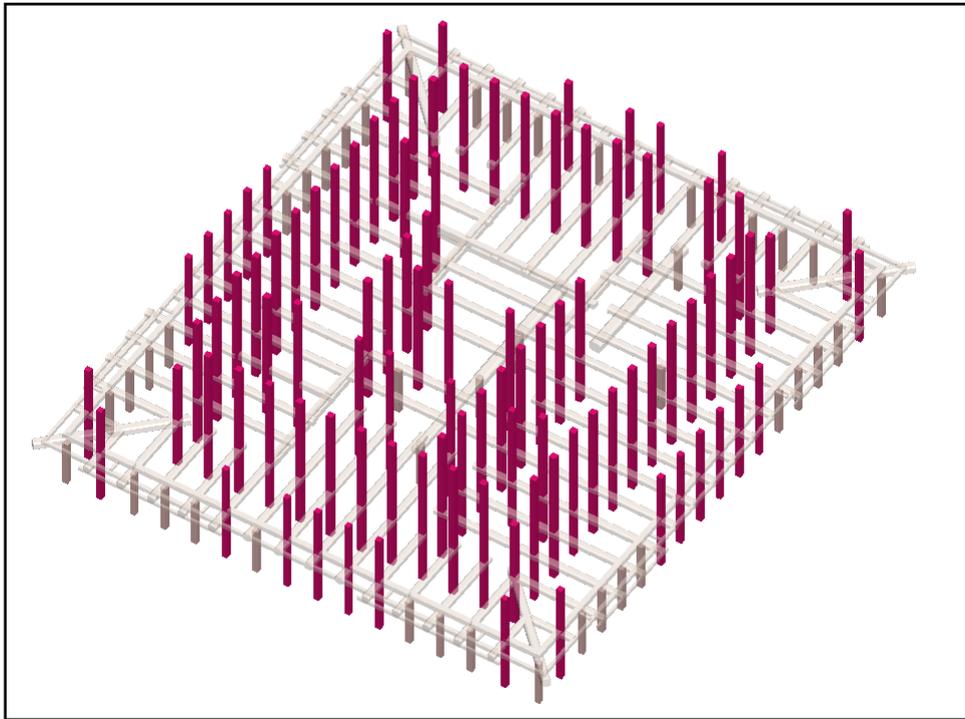


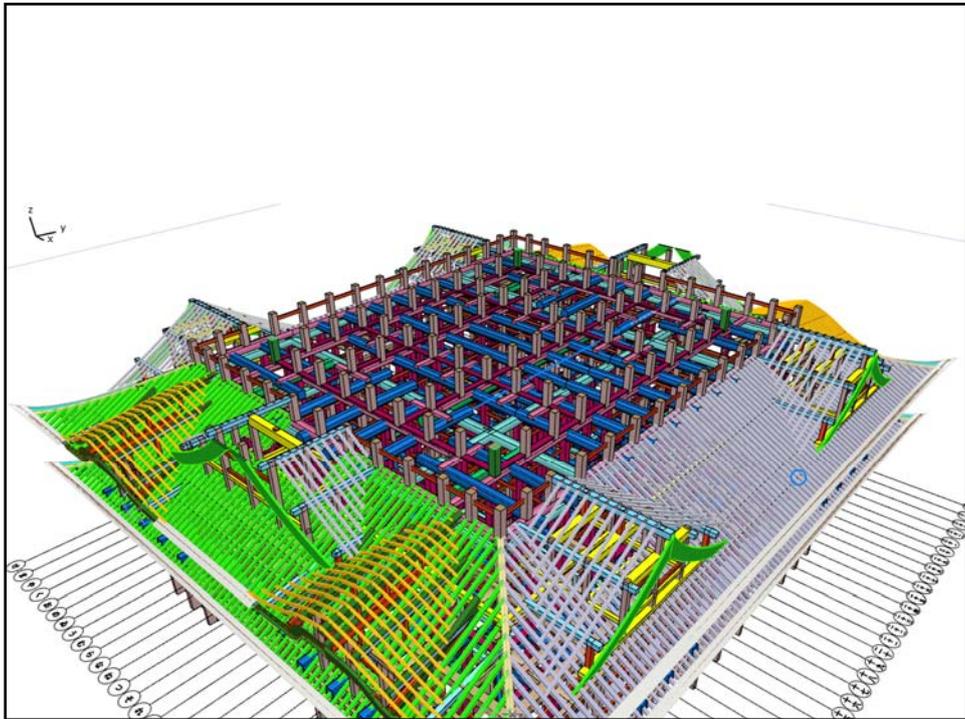
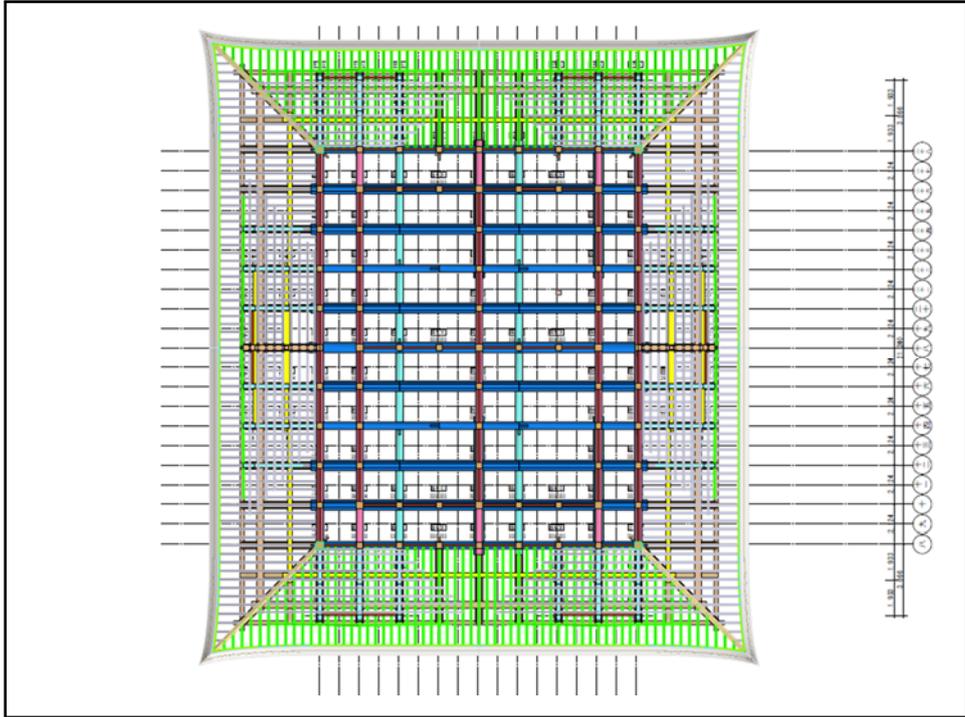


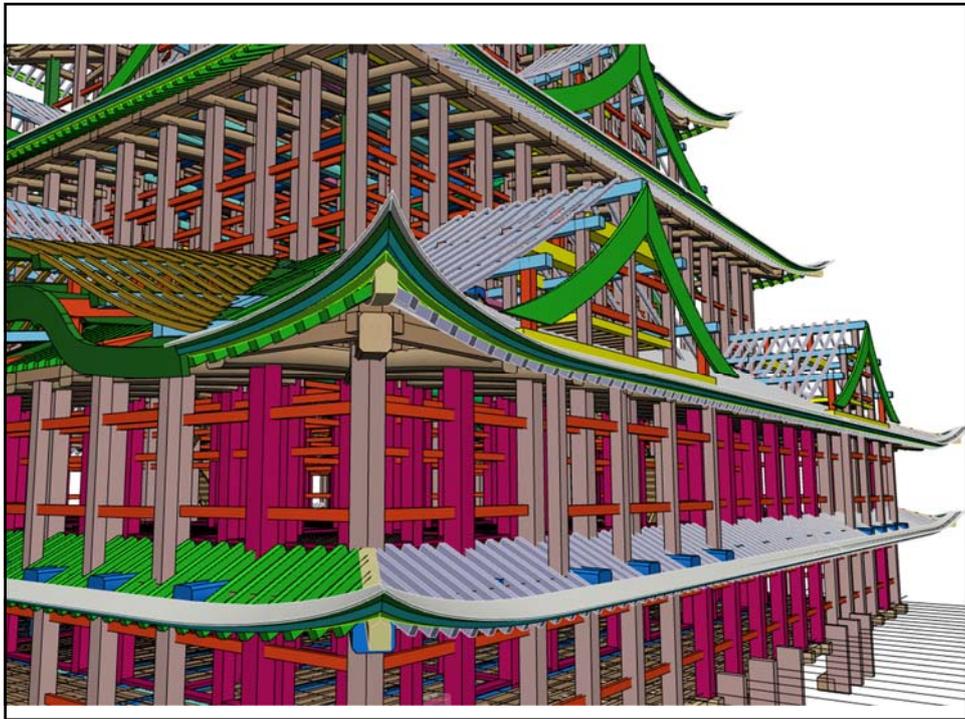
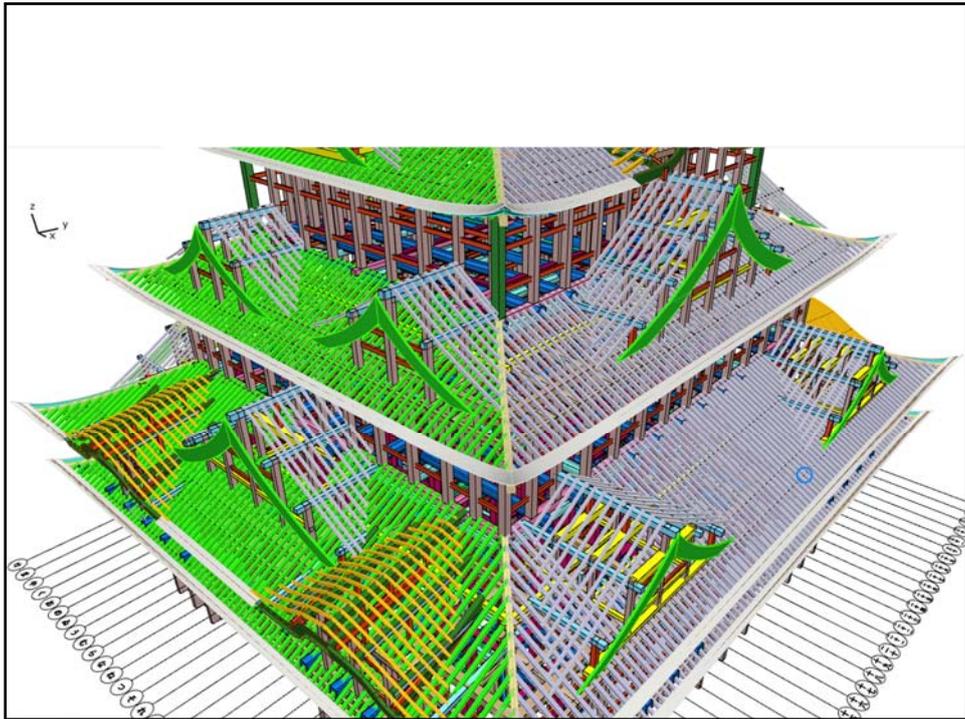


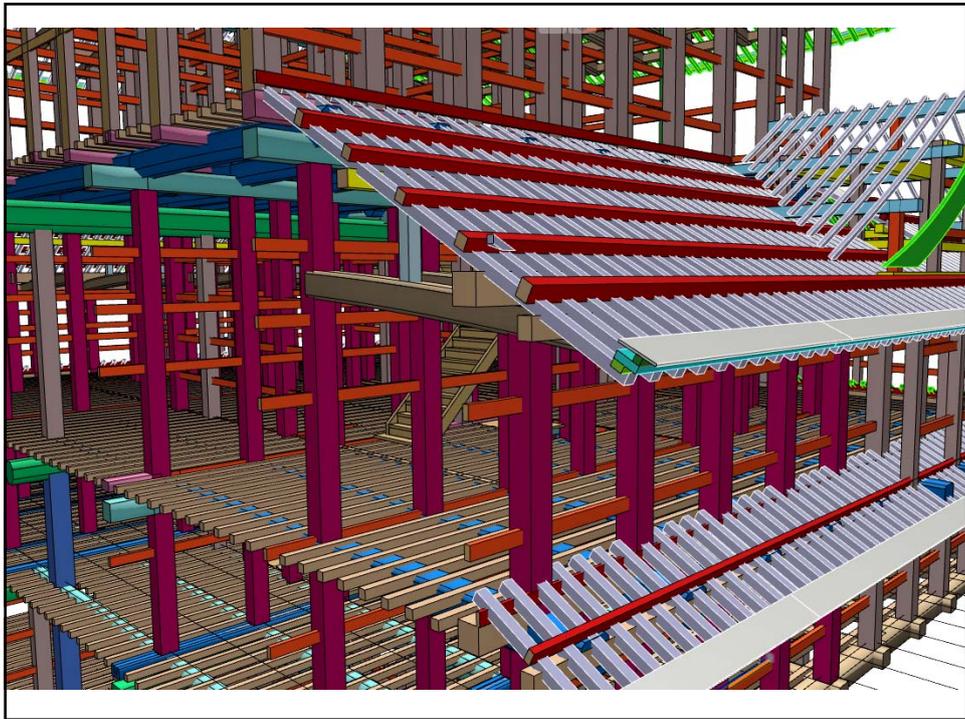
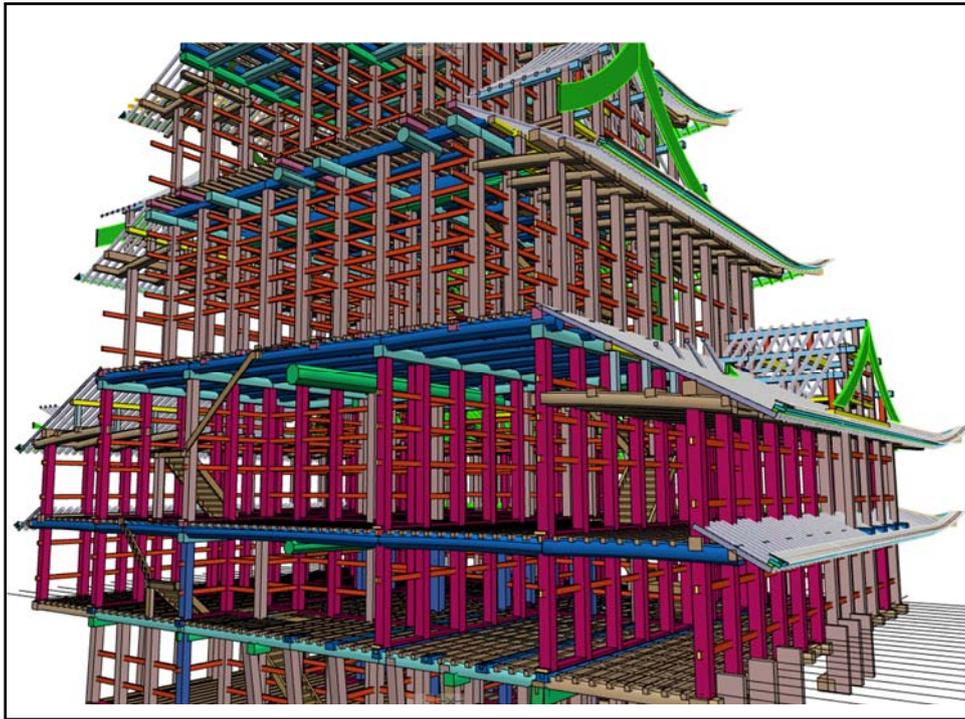


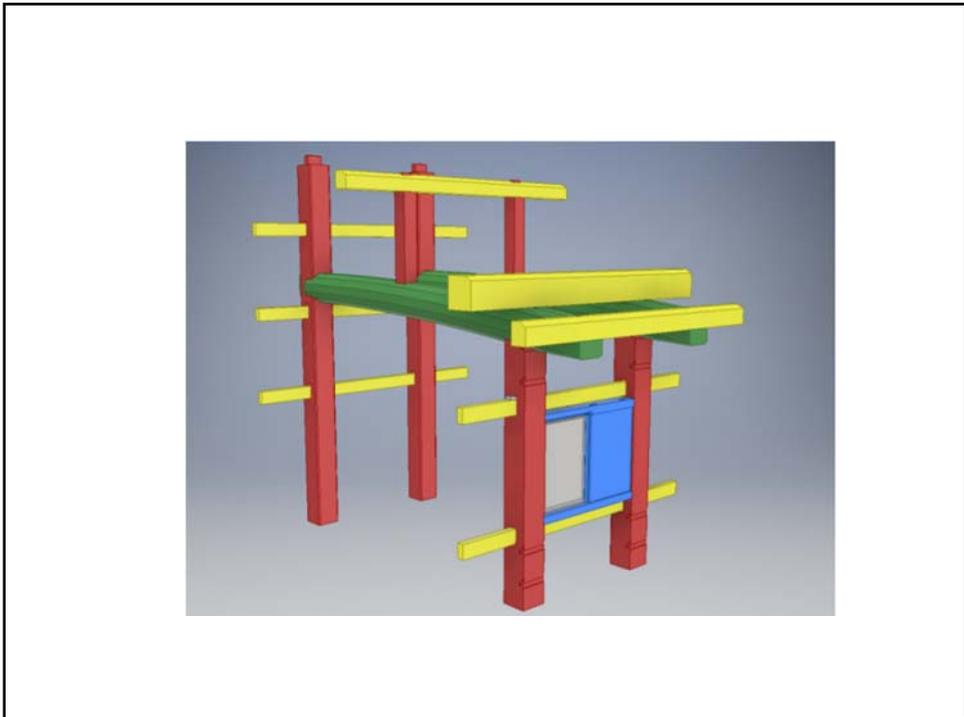
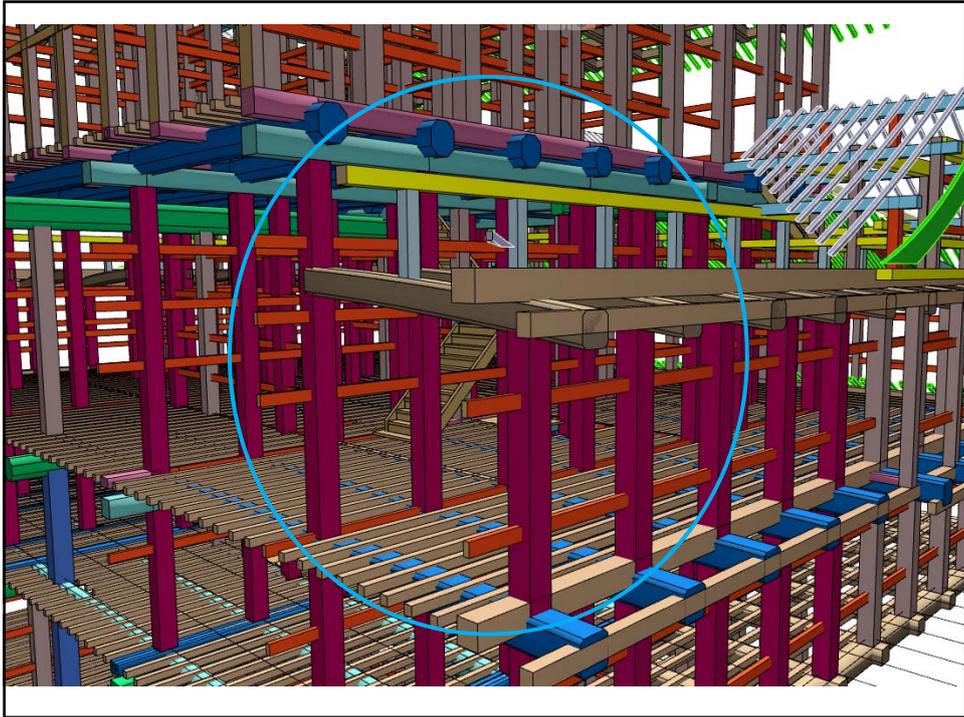
建築情報の一元的管理

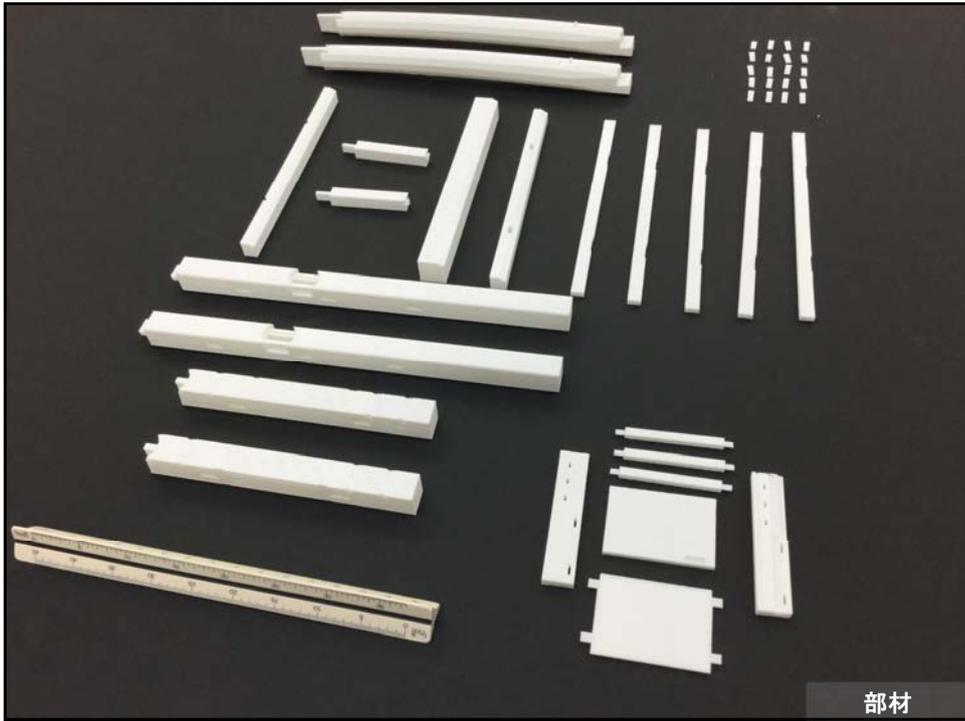




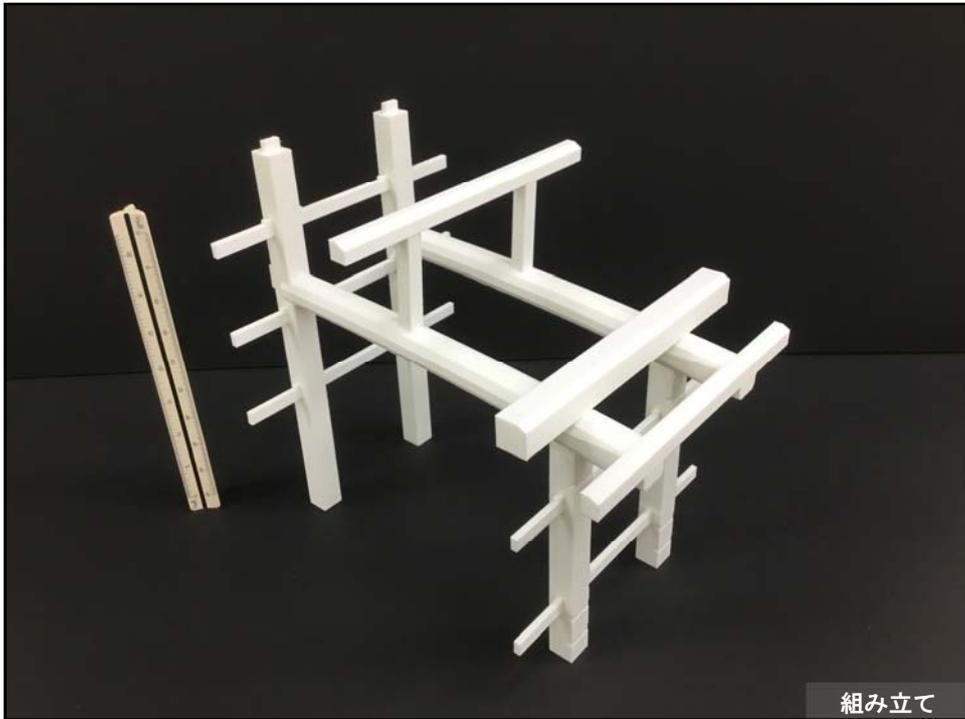




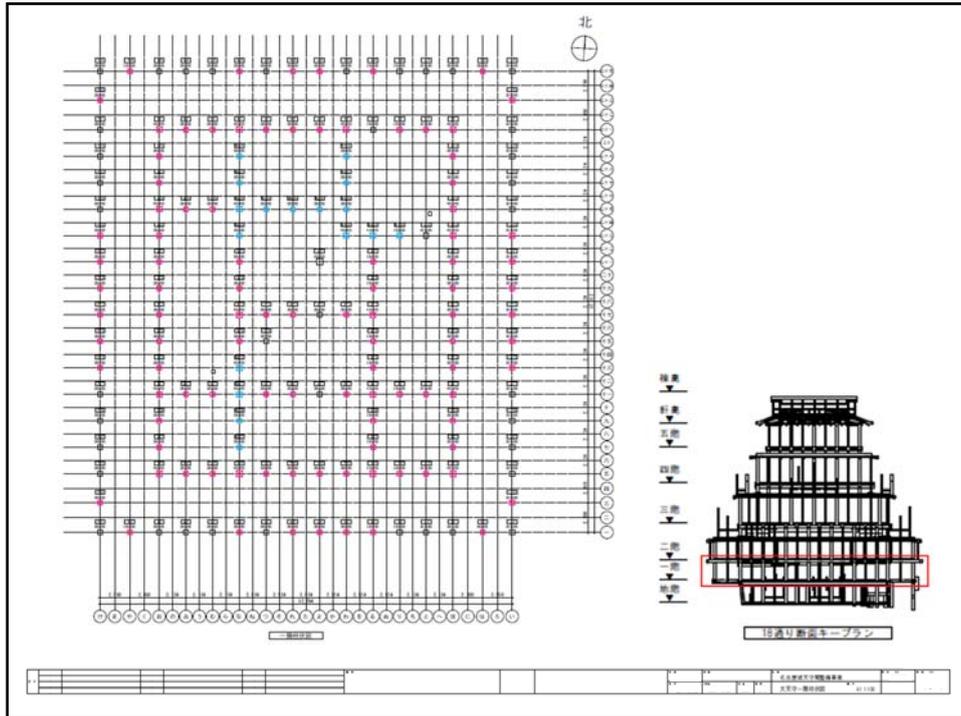




部材



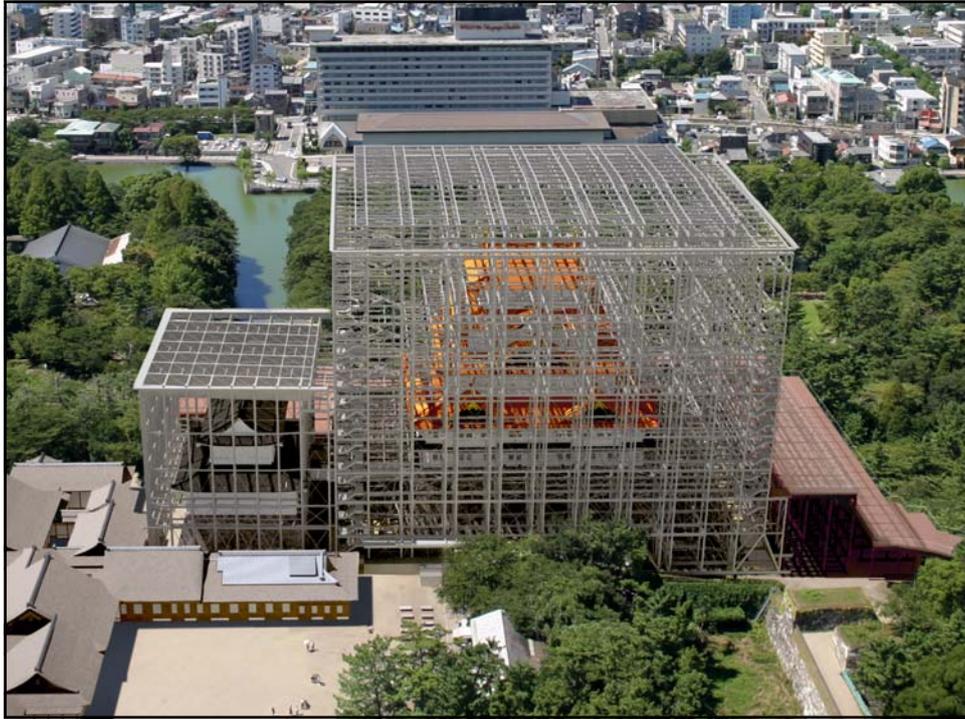
組み立て



木造復元工事施工

素屋根





施工ステップ



現 状



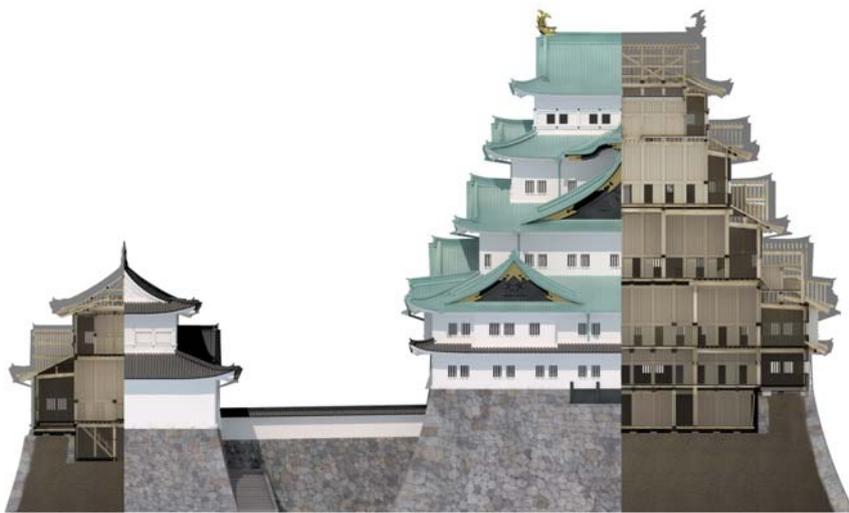




ガラス乾板写真からCG

ENDING Movie

名古屋城天守閣木造復元



木造復元イメージ図